

公立羽咋病院 広報なぎさ 2026 夏

第96号



病院理念 人にやさしく 信頼される病院

基本
方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

公立羽咋病院

〒925-8502
石川県羽咋市の場町松崎24番地
TEL (0767) 22-1220
FAX (0767) 22-5598
<https://www.hakuihp.jp/>

胃カメラ・大腸カメラの すすめ



「胃カメラや大腸カメラはつらそう」「症状がないから大丈夫」と思っていませんか。しかし、消化器の病気は早期には自覚症状が乏しいことが多く、症状が出た時には進行している場合があります。胃カメラや大腸カメラは、病気の早期発見・早期治療のために非常に重要な検査です。

胃カメラでは、食道・胃・十二指腸を直接観察することができます。胃がんだけでなく、胃潰瘍、逆流性食道炎、ピロリ菌感染による胃炎なども診断できます。特に日本では胃がんは比較的多い病気ですが、早期に発見できれば内視鏡治療で治癒が期待できる時代になっています。また、ピロリ菌感染を放置すると胃がんのリスクが高まることが知られており、検査によって胃の状態を確認することはとても重要です。

一方、大腸カメラでは大腸がんや大腸ポリープ、炎症性腸疾患などを調べることができます。大腸がんは近年増加傾向にありますが、多くはポリープが大きくなることで発生すると考えられています。そのため、検査中にポリープを切除することで、将来の大腸がん予防につながる可能性があります。便潜血検査で異常を指摘された方はもちろん、便秘や下痢、血便、腹痛などが続く方も検査をおすすめします。

最近では、以前に比べて内視鏡検査の負担は軽減されています。鎮静剤を用いた検査により、「思ったより楽だった」と話される方も多くおられます。特に大腸カメラは不安を持たれる方が多い検査ですが、安心して受けていただけるよう配慮しながら検査を行っています。

また、高齢化に伴い、消化器疾患を持つ方は増加しています。胃がんや大腸がんは早期では症状が出にくいので、「症状がないから受けなくていい」ではなく、「症状が無いうちに受ける」ことが大切です。特に40歳を過ぎた方、血縁者に消化器がんの方がおられる方、喫煙や飲酒習慣がある方は、一度検査を検討してみてください。

内視鏡検査は、病気を見つけるだけでなく、安心につながる検査でもあります。当院では、患者さん一人ひとりに寄り添い、不安をできるだけ軽減しながら検査を行っています。気になる症状がある方や検査を迷っている方は、気軽にご相談ください。

消化器内科医師 八尾 優太

家庭で役立つ情報



胃カメラや大腸カメラ検査は、病気の早期発見や診断、経過観察などにとっても大切です。検査だけでなく、消化管の出血を止める治療や早期がんの治療等も行うことができます。検査は決して楽なものではありませんが、催眠剤といって浅く眠った状態で検査を受けることも可能です（ただし当日の運転は出来ません）。検査中は常にスタッフが見守りますのでご安心ください。当院内視鏡室では検査・診療のプロである医師とともに看護師（看護のプロ）、臨床工学技士（機器のプロ）、臨床検査技師（各種検査のプロ）と多職種で連携し協力しています。消化器内視鏡技師という専門資格を取得した看護師、工学技士、検査技師が医師の指示のもと業務にあたり、それぞれの専門分野を活かしつつ安心安全かつ質の高い検査・治療を提供できるように心がけています。

臨床検査科副技師長 脇坂 典子

病診連携の会

「第41回病診連携の会」をハイブリッド開催しました。一般講演では当院循環器内科小島信子医師が「慢性心不全の治療と地域医療」をテーマに金沢大学の心不全地域連携パスを例に挙げて説明しました。診療情報提供書に加えて、パス手帳と患者連絡シートを活用することで、心不全治療の内容のみならず、実際に行った指導内容の詳細な情報を共有できるようになったと報告しました。6月1日から心不全再入院予防継続管理料の算定が開始されることも言及しました。

特別講演では、コロンビア大学内科教授の中川俊一先生が「悪い知らせの伝え方－プロフェッショナルはどう対話するのか－」というテーマで講演を行いました。中川先生は悪い知らせを伝えることの困難さについて説明し、準備の重要性について、時間とエネルギーの50%以上を準備に費やすべきだと強調し、医学的な事実の確認、患者家族サイドでの参加者の確認、医療サイドでの参加者の確認、適切な場所の選択、十分な時間の確保などが必要だと説明しました。また情報を伝える際は、ゆっくりとはっきりとシンプルに伝える必要があり、2分以内にまとめることが重要だと述べました。専門用語を避け、相手の理解度に合わせて伝え方を調整することの重要性を強調しました。156名の参加がありました。

医療サービス推進室室長 山中 由貴子



外科外来と形成外来の場所変更

2026年5月25日（月）から、外科外来と形成外科外来の場所が変更になりました。「患者さんを第一に考える」という考えから出発し、効果的で効率的な診察場所・処置室のレイアウトの検討など、医師、看護師、事務担当間で話し合い、オープンにこぎつけました。変更に伴い、何かと御不便をおかけすることと思いますが、医師を筆頭にスタッフ一同これまで以上に、安心して安楽な医療サービスの提供に努めてまいります。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

外来看護師長 小崎 孝幸



Pepper(ペッパー)による検温業務 終了のお知らせ

こんにちは、ペッパーです 🤖
入口での検温のお仕事を、5月31日で
終了することになりました。
たくさんの方に「おはよう」や
「こんにちは」と声をかけてもらえて、
とってもうれしかったです 😊
今までありがとうございました！



これまで正面玄関にて、ご来院の皆様の検温業務を担当しておりました Pepper (ペッパー) は、5月31日をもちまして業務を終了しました。長い間、温かい声をかけていただき、誠にありがとうございました。皆様の笑顔に支えられ、最後まで勤め上げることができました。

総務課管理係長 所司 旦

診療科に
消化器内科開設

連携介護保険事業所 紹介



介護相談センター羽咋

住 所：羽咋市柳橋町堂田53-1

電 話：0767-22-3257

事業所種別：居宅介護支援事業所

ケアマネジャー4名で介護に関する困りごとの相談を受け付けています。同じ敷地内に診療所外来や通所リハビリがあり、同じグループ内には訪問介護（ヘルパー）や訪問看護などの介護サービス事業所があるため、チームを組んで支援が行えることが強みです。地域では療養・生活のうえで様々な困難・課題を抱えている方が増えています。「寄り添う、支援する、なんとかする」を志し、少しでも皆様のお力になりたいと思っています。

介護相談センター羽咋 佐山 佳奈子

リハビリテーション科 実習

当院リハビリテーション科では、地域の未来を担う理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を育成するため、臨床実習生を受け入れています。実習中は実習指導者の管理のもと、患者さんのプライバシーや安全に万全の配慮をして進めてまいります。今年度は2名の実習生の受入を予定しています。未来の良質な医療人を育てるためには、実際の臨床現場での経験が欠かせません。患者さんやご家族の方々には、ご理解と温かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

リハビリテーション科主任作業療法士
桶谷 淳一



患者さん、実習生の理解を得て掲載しています。

がん治療に対して 知識を深めよう ～患者さん・ご家族向け研修～



市民の方や療養中の患者さん、ご家族にがん治療や困りごとなどの相談窓口などを知ってもらえる機会

になればと思い、今年度4回シリーズで研修会を行います。そこで第1回は、6月25日（木）1階総合受付前ホールで行いました。内科西野医師による『ACPについて』研修し、多職種による補助食品の紹介、ソーシャルワーカーによる『わたしのきもち』の冊子の紹介、看護師によるアロマ液を用いた手浴体験などを行ってもらい、市民の方、入院中の方など11名の方の参加がありました。次回は、8月26日（水）13:00～外科甲斐田医師による『癌の手術について』です。参加は無料です。皆さんのお越しをお待ちしております。

副総看護師長／3階病棟看護師長 喜多 貴子

やすらぎコンサート

コロナ禍の休止を経て、昨年から再開したやすらぎコンサート。再開後3回目のコンサートが令和8年5月14日、1階情報プラザ前で行われました。

今回はシャンソン歌手の藪内ようこさんをお迎えし、シャンソンを中心に患者さんを前に歌っていただきました。会場には藪内さんの美しい歌声が響きわたり、会場内が温かな雰囲気になりました。コンサートが終わったあと患者さんが笑顔で病室に戻って行かれたのが印象的でした。

コンサートは入院中の方や受診の方に限らず、どなたでも参加可能ですので、気軽に会場に足を運んでいただけたらと思います。次回開催が決まり次第、ご案内させていただきます。皆さまのご来場をお待ちしております。



医療サービス推進室 社会福祉士 西井 寿文

ありがとうございます

♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様

♥ 写 真 羽咋写真協会の皆様

♥ 絵 画 羽咋美術協会の皆様

♥ 書 字 羽咋市書道協会の皆様

♥ 手 芸 羽咋市手芸協会の皆様

♥ 園児の絵 千里浜保育園



テーマ すいすいおよぐよ きんぎょさん



梅雨には紫陽花がよく似合います。しっとりと濡れた姿も美しく、梅雨ならではの風情があります。土壌の酸性度によって色が変化するという理科学的な面白さ、そして「6月の6のつく日に吊ると厄除けになる」といったユニークな雑学もあり、知れば知るほど奥深い植物です。

文・写真

リハビリテーション科士長

大西 光亮